

令和6年度第1回当別町地域公共交通活性化協議会議事概要

1 開催日時及び開催場所

日時:令和6年6月24日(月)10:00~11:25

場所:当別町役場第2庁舎 2階会議室

2 出席委員

別紙委員名簿のとおり

3 協議会の概要

《次第2 報告事項》

(1)令和5年度当別町地域公共交通活性化協議会実績報告について

(2)令和5年度当別町地域公共交通活性化協議会決算及び監査報告について

資料1及び資料2に基づき事務局より説明した。

【質疑等】

経副会長:バスの利用者の実績全体では、利用者が増えていて良いが、デマンドバスの利用者は減少しているため、掘り下げて調査・分析して頂きたい。利用者の声を聞いてみるのもありだと思う。

事務局:デマンドバスについては年々利用者が減少しているため、今後どの様な方が利用しているのか把握しつつ、出前講座等を行い利用促進に努める。

(3)月形当別線(JR 札沼線代替バス)の令和5年度実績について

資料3に基づき事務局より説明した。

【質疑等】

経副会長:国の補助要件を満たせなくなったことで、サービス継続事業を活用して引き続き補助対象として運行していただいているが、今後ブラッシュアップ等を進めていただきたい。

《会長から報告》

岡部会長:協議事項の前に、この場を借りて報告させていただくが、先日、北海道医療大学の理事長から正式に北広島市に移転する旨の報告を受けた。町としては、これ以上慰留を求めるのは困難であり、慰留は断念したが、町としては、町内に学生が居住している限りは、学生のキャンパスライフをサポートしていきたいと考えている。今後ふれあいバスの利用がどうなるかわからないが、状況に応じて大学と協議し、公共交通の維持に努めたい。また、移転後は協議会にて路線の大幅な見直しを検討する必要があると思うので、委員の皆様にご理解いただきたい。

《次第3 協議事項》

(1)令和6年度当別町地域公共交通活性化協議会変更予算(案)について

資料4に基づき事務局より説明した。

質疑等なし。

(2)令和7年度当別町地域内フィーダー系統確保維持事業(案)について

資料5に基づき事務局より説明した。

質疑等なし。

(3)当別町地域公共交通計画の評価について

資料6に基づき事務局より説明した。

【質疑等】

岡部会長:運転手確保に向けた取組についてだが、運転手の確保状況について運行事業者としてどうか。

下段委員:先日広報にドライバー不足についての記事を掲載していただいたが、2名の町内在住者から問い合わせがあった。この2名は採用することになっており、2名確保できた。今後も運転手確保に努める。

岡部会長:当別町は比較的恵まれている状況ではあるが、今後も対策は必要となる。

中田委員:PTA の会議で西当別の獅子内地区のスクールバス対象外エリアに住んでいる小学生が冬の天候が悪い時にふれあいバスに乗りたいという話が出ていた。学校からはふれあいバスを使った通学は問題ないと聞いているが、保護者へのアンケートや周知を実施していただきたい。

事務局:利用促進にも繋がるので、教育委員会と連携して保護者向けアンケートやバス利用に係る周知について検討する。

《次第4 その他》

(1)「令和6年度自動運転バス実証運行事業」の概要について

資料7に基づき事務局より説明した。

質疑等なし。

(2)自家用車活用事業について

資料8に基づき経副会長より説明した。

質疑等なし。

(3)今後のスケジュールについて

資料9に基づき事務局より説明した。

【質疑等】

事務局:北海道医療大学の移転により、大きな転換期を迎えることになるため、今後の検討にあたり、都度協議会の場で協議を行いたいと考えており、委員の皆様にご協力いただきたい。

以上